

第2弾東広島市物価高騰対応チャレンジ事業計画書

1 申請者の概要

氏名又は名称	株式会社のん太の食堂		
代表者の 役職及び氏名	代表取締役 東広 のん太		
所在地	(〒739-8601) 東広島市西条栄町8-29		
業種	飲食業		
資本金	100万円	従業員数	2人
電話番号	082-420-0921		
メールアドレス	hgh200921@city.higashihiroshima.lg.jp		

事業概要、商品・サービスの内容、現在の経営状況等を具体的に記入ください

2 計画の内容

(1) 現在の事業内容、経営状況 ・西条駅周辺で「のん太の食堂」を経営している。 ・従業員は副店長1名、正社員1名、パート・アルバイト15名である。 ・当店の強みは、日本酒の種類が充実していることであり、西条のお酒を中心に30銘柄以上揃えている。また、地元の食材を活用した料理を提供しており、市内の方だけでなく、観光客も多く来ていただいている。 ・コロナ禍で落ち込んだ売上は回復し、去年は観光客比率が増えたことでコロナ以前よりも来店数が増加している。
(2) 物価高騰の影響について ・物価高騰により、食材の仕入れ価格が大きく上昇するとともに、電気料金が前年比20%増加、ガス代は前年比25%増加した。 ・地産メニュー開発で観光客を集客し、売上は上昇しているが、原価率の大幅な増加、人件費の増加により、売上の上昇以上に利益が圧迫されている。

(3) 取組区分及び取り組み内容 【取組区分】※該当に☑してください。(複数選択可) ☐ 省エネ投資 ☐ 効率化・高収益化 ☐ 新商品・新サービス開発	
【取り組み内容】(選択した区分ごとに記入してください)	
取組区分	内容
省エネ投資	<課題①> ・現在使用している電気式業務用鉄板は開業時から使用しているものであり、消費電力が大きく電気料金高騰の影響を強く受け、光熱費増加の主要因となっている。 <取り組み内容①> ・高効率電気ヒーターユニットを搭載した、省エネ機能の高い電気式業務用鉄板を導入する。これにより、調理を行っていないときの電力を大幅にカットし、調理時には無段階高効率の温度調節機能により、オペレーションが向上しつつ、電気力の最適化による省エネ効果が見込まれる。
効率化・高収益化	<課題②> ・パート・アルバイトのシフト管理は紙で行っている。また、出退勤はタイムカードで管理しており、目視でエクセルへ入力して給与額を計算している。これらの作業は全て副店長1名で行っている。 ・日々の業務が忙しく、売上や原価等の数値を把握できていない。 <取り組み内容②> ・クラウド型の勤怠管理システムを導入する。これにより、シフト管理はクラウドで行うことが可能となり、調整や共有がスムーズになる。また、出退勤もシステムで管理することで、集計や給与計算もスムーズになるとともに、計算間違い等のリスクも軽減される。 ・POSレジを導入する。これにより、日々の売上や原価率の管理、売れ筋商品等の把握をすることが可能となる。 ・上記の取り組みを検討する上で、適切なシステムの選定や活用方法について、全体の業務効率化を踏まえてITコーディネーターに支援を受ける。

現状の課題と、それに対する取り組み内容(目的、手段、経費の使い道等)を具体的に記入ください。

新商品・新サービス開発

<課題③>

・現在の売上構成比は、地元客（主に男性）による夜間利用が7割、観光客によるランチ利用が3割である。新しいランチメニューを開発し女性観光客を取り込みたい。

<取り組み内容③>

・栄養士、フードコーディネーター等の専門家に助言を受けながら、女性観光客をターゲットに、地元野菜の栄養価を最大限に活かした新ランチメニューを開発する。また、新商品PRのため、メニュー表をリニューアルする。

(4) 今回の取り組みがもたらす効果（見込み）

※効果（見込み）は、根拠に基づいて定量的に示してください。

<取り組み①の事例>

◆高効率電気ヒーターユニットを搭載した電気式鉄板を導入して省エネ化

・年間の消費電力及び電気代が、以下の軽減が見込まれる。（メーカーカタログ参考）

【消費電力】導入前 5285kWh→導入後 3500kWh となり、34%の軽減

【電気代】導入前約 158,550 円→導入後約 105,000 円となり、年間 53,550 円の削減

<取り組み②の事例>

◆クラウド型の勤怠管理システムの導入による業務効率化

・これまで手作業で行っていたシフト管理及び給料計算などを、システムを導入することで、副店長の作業時間の削減が見込まれる。

	導入前	導入後
シフト調整	3 時間/月	0 時間/月
給与計算	5 時間/月	1 時間/月
合計	8 時間/月	1 時間/月

◆POSレジの導入による収益力強化

・POSレジ導入し、売上や原価、売れ筋商品等を管理する。適宜、仕入れ商品の見直しや販売価格の適正化等を検討することで、収益力強化を図る。

【原価率削減目標】現状 50%→導入後 45%へ削減

◆ITコーディネータによる支援

・本取り組みをITコーディネーターに支援いただき、勤怠管理や会計管理などの部分

新しい取り組みによって、どの程度効果が見込めるか（売上・利益の増加や経費削減、生産性向上等）を定量的（数値等）で明確に記載ください。

最適だけでなく、業務全体の最適化を図る。これにより、適正なシステム選定を実施でき、また、それぞれのシステムの活用方法について指導いただくことで、スムーズな導入を目指す。

<取り組み③の事例>

◆新ランチメニューを開発し、メニュー表のリニューアルでPRする

- ・専門家の助言を受けながら、ランチメニューに、新たに開発した新商品を展開する。新規顧客の獲得及びリピート率の向上を目指し、売上増加を図る。また、新商品の宣伝のため、メニュー表をリニューアルし、訴求力の向上を図る。

【売上増加見込み額】

増加顧客数（見込み）90人/月×客単価1,000円/人×12カ月/年＝1,080,000円/年

3 支出経費明細

（単位：円）

取組区分	費目	内容	対象経費（税抜）
①	機械・器具費	高効率電気ヒーターユニット電気式鉄板	550,000円
②	システム導入費	勤怠管理システムの導入	200,000円
②	機械・器具費	POSレジの導入	100,000円
②	指導・調査費	ITコーディネーターによる指導	50,000円
③	調査・指導費	栄養士による指導・助言	50,000円
③	原材料費	試作品の材料費	50,000円
③	広告宣伝費	メニュー表のリニューアル（デザイン等）	100,000円
			円
対象経費合計(A)			◆◆◆円
補助金申請額(B)【対象経費合計(A)×2/3】 ※千円未満切捨て			◆◆◆円

※必要に応じて行を追加してください。

※取組区分及び費目は次の「◆取組区分及び費目一覧」から選択してください。

◆取組区分及び費目一覧

取組区分	費目
①省エネ投資	機械器具費、施設改修費、システム導入費、指導・調査費
②効率化・高収益化	機械器具費、施設改修費、システム導入費、指導・調査費
③新商品・新サービス開発	調査・指導費、機械器具費、原材料費、技術指導費、委託費、広告宣伝費、産業財産権導入費、会場費

4 パートナーシップ構築宣言

令和7年3月に 実施済み ・ 実施予定

※申請支援機関記入欄

☐ 事業計画書の内容を確認しました。

受付日		連絡先	
申請支援機関名		担当者	